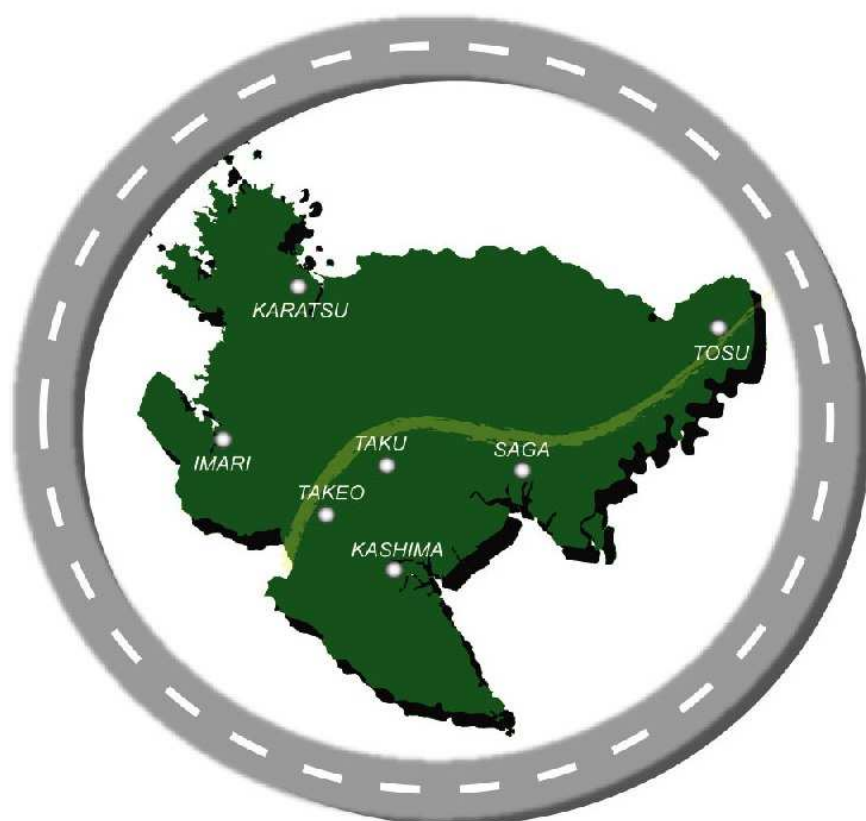


佐賀県の道づくり

【佐賀県中長期道路整備計画】



佐賀県

佐賀県の現状

小都市分散型の県土

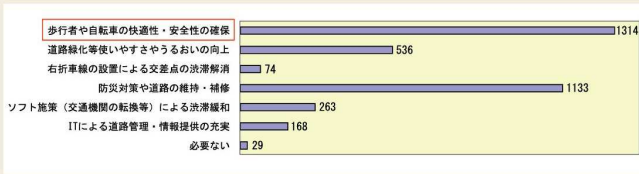
佐賀県は県都佐賀市の人口が17万人足らずで、唐津市、鳥栖市、多久市等人口10万人程度の小都市が点在する分散型の県土を形成しています。



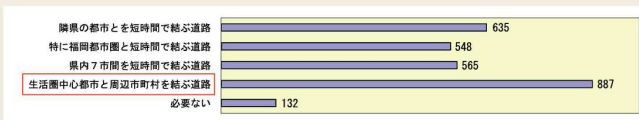
県民のニーズ

道路整備に関する県民のアンケート調査結果（H14.10）によると、「歩行者・自転車の快適性・安全性の確保」「生活中心都市圏と周辺市町村を結ぶ道路」「都市内渋滞を緩和する道路」の整備が望まれています。

安全で安心な道路の整備に関して

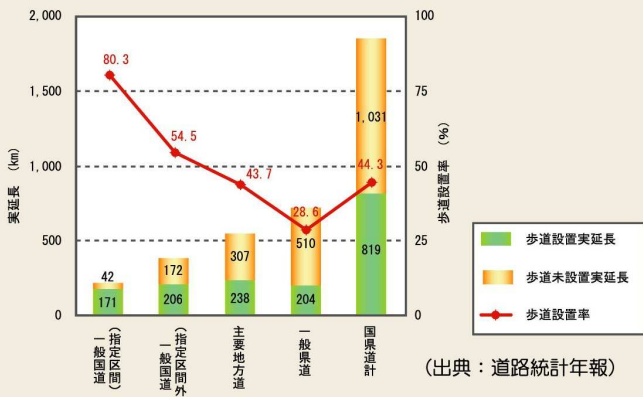


地域間の交流を促進する幹線道路の整備に関して

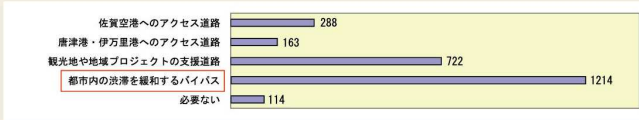


歩道整備の遅れ

佐賀県内の歩道の設置率は、一般県道で約3割、国県道全体で約4割程度であり、歩道が少なく危険な箇所が残っています。



活力ある地域をつくる道路の整備に関して



交通事故の死者数が多い

交通事故による人口10万人当たりの死者数は、九州平均や全国平均を大きく上回ります。



都市部への渋滞集中

都市部で渋滞が多く発生しており、特に佐賀市の周辺に渋滞箇所が集中しています。



『中長期道路整備計画』によって期待される効果

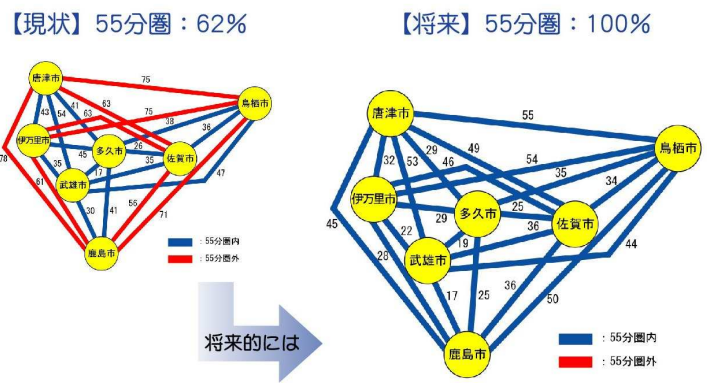
基本方針 2 交流を支える道づくり

佐賀県は小さな都市が各地に分散する分散型の県土を形成しています。県内都市間や隣県都市を結ぶ交通ネットワークを強化することによって、地域間の『交流を支える道づくり』を目指します。

主要都市間の連携強化

広域的な幹線道路ネットワークを整備することにより、点在する都市間の移動時間を短縮し、地域間の連携を強化します。

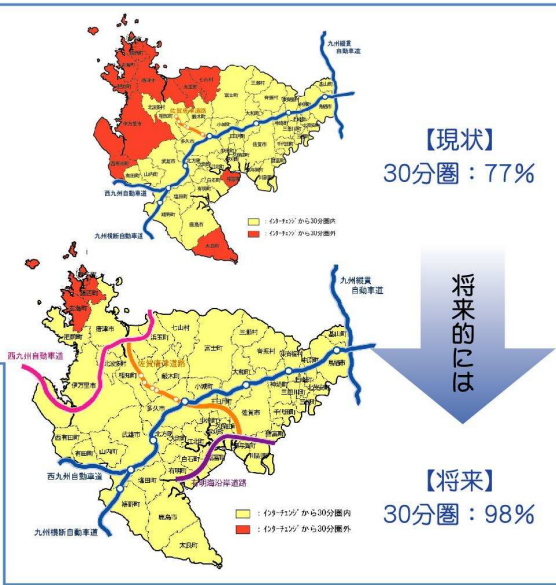
【整備効果指標】 県内主要都市間55分圏
 県内主要7都市間の代表経路を移動する時間が55分以内の路線数割合



県内外の交流促進

移動がスムーズになることで県内都市だけではなく、県外周辺地域との交流も促進します。

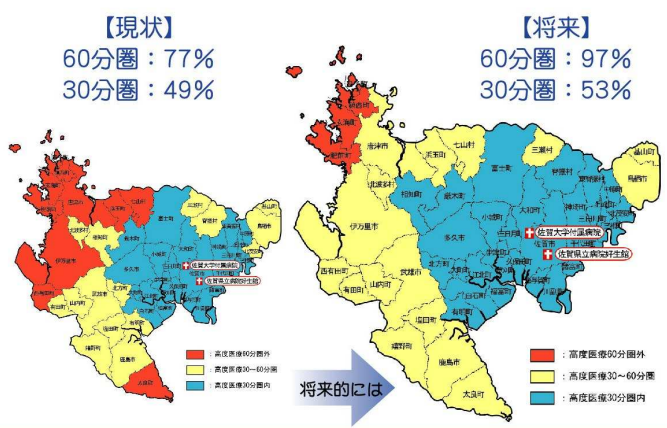
【整備効果指標】 インターチェンジ30分到達可能圏
 佐賀県内の自動車専用道路インターチェンジから30分で到達可能な佐賀県内の市町村人口の割合



救急ネットワークの強化

第3次医療施設への救急搬送時間が短縮されることにより、人命の救助活動に寄与します。

【整備効果指標】 高次医療到達可能圏
 第3次救急医療施設へ60分[30分]以内で到達できる市町村人口の割合



生活圏中心都市へのアクセス向上

都市部への移動がスムーズになることにより、地域間の交流が促進されます。



基本方針 3 活力ある地域を育む道づくり

道路は、経済・文化等様々な分野で人・モノ、情報が活発に行き交う交流基盤です。豊かな明日の佐賀を創造するため、都市内幹線・都市環状道路、空港・港湾アクセス道路、広域観光ルート等の整備により『活力ある地域を育む道づくり』を目指します。

生活の支援

都市に集中する交通混雑が緩和され、幹線道路だけではなく、日常利用している生活道路の通行もスムーズになります。

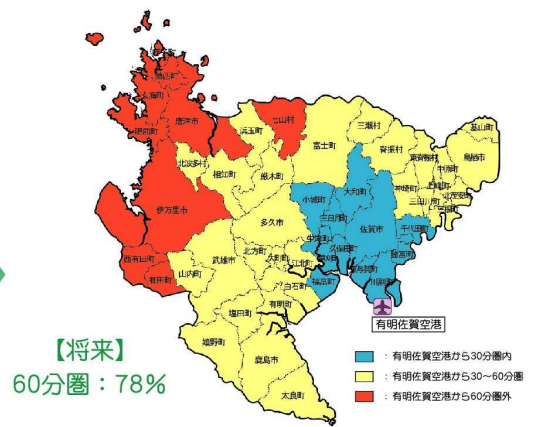
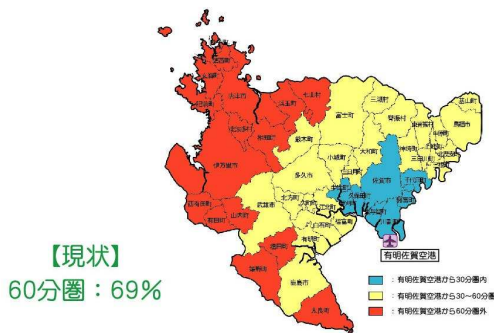
【整備効果指標】 主要渋滞ポイント
第3次渋滞対策プログラムにおいて選定された渋滞箇所



交通・流通拠点へのアクセス向上

有明佐賀空港や唐津港、伊万里港などへのアクセスが容易になり、国内外を含めた人や物、情報の交流が促進されます。

【整備効果指標】 有明佐賀空港まで60分到達圏人口の割合
有明佐賀空港まで60分で到達可能な県内市町村人口の割合



地域プロジェクトの活性化

肥沃な佐賀平野と有明海から収穫される特産物や地域の産業を育成する基盤づくりなど、地域の活性化を応援します。

広域観光ルートの形成

広域的な観光ネットワークを形成することで、県内観光地の連携と交流が図られ、観光さかの魅力が向上します。



道路整備将来ビジョン

～3つの基本方針～

現状・課題

県民ニーズ

安全で安心な道づくり

- 安全で安心な利用環境を創造する道路整備
- 自転車利用で快適なまちづくりを支援する道路整備
- 環境にやさしい道路整備
- 災害に強い信頼性の高い道路整備

交流を支える道づくり

- 広域都市間の連携を強化する走行しやすい幹線ネットワークの整備
- 広域幹線ネットワークを補完する幹線道路の整備
- 救急医療を支える道路整備
- 生活圏中心都市と周辺市町村を結ぶ幹線道路の整備

活力ある地域を育む道づくり

- 都市の活性化を支える道路整備
- 空港や港湾へのアクセスを支える道路整備
- 産業を支える道路整備
- 観光ネットワークを形づくる道路整備

望まれる「道づくり」

選択と集中

《佐賀県総合計画》

夢・輝く「人財“有”県生活“悠”県」のさがづくり
～「住みたい県日本一」を目指して～

『道づくり』の重点方針

～重点化～

佐賀県 中長期道路整備計画

ポイント



限られた財源の中でも選択と集中により、多くの高い効果が期待できます。

交通安全対策

高齢者や子供など交通弱者でも安全・安心に歩行できるよう、交通安全対策のための歩道の設置やバリアフリー対策など、必要な箇所の緊急性や優先度を考慮して整備を進めます。

幹線道路ネットワークの整備

九州横断自動車道を基軸とした、**広域的な幹線道路ネットワーク**を形成するため、走行性の高い道路を整備します。
また、広域的な幹線道路を補完するその他の幹線道路についても同時に整備を進めます。
この結果、これまで生活道路に進入していた通過交通が幹線道路に転換するため、現在の道路も地域の生活道路として利用しやすくなります。

期待される効果

～相乗的効用～

目標を達成するための効果を意識した道路整備

歩行者保護

交通安全

環境の保全

災害時の交通確保



主要都市間の連携強化

県内外の交流促進

救急ネットワークの強化

生活圏中心都市へのアクセス向上



生活の支援

交通・流通拠点へのアクセス向上

地域プロジェクトの活性化

広域観光ルートの形成



「道づくり」の進め方



地域の特性に応じた道路整備

それぞれの地域の特性・必要性に応じて、より効果的・効率的に整備を進めます。

既存道路の有効活用

他の交通機関との連携なども含め、現在の道路を最大限に活用することで、交通の円滑化を図ります。

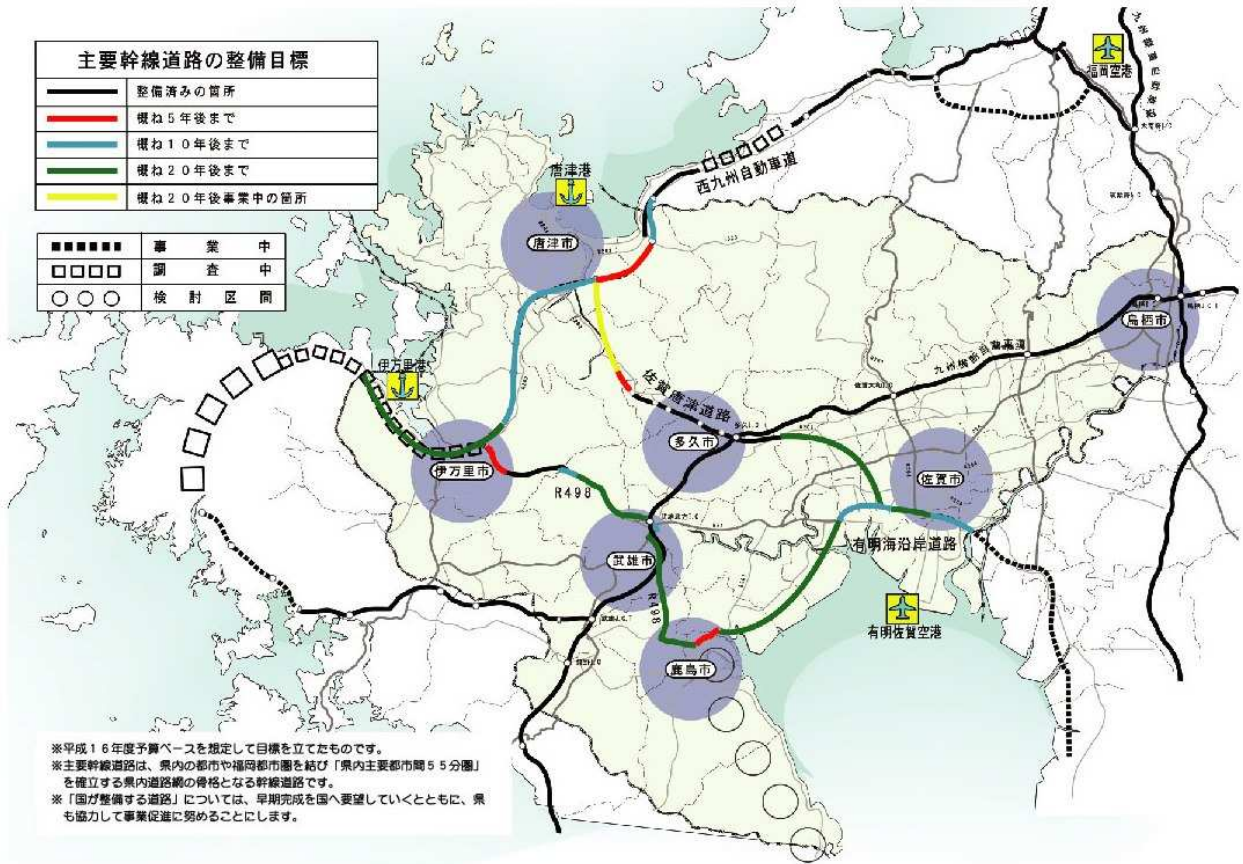
県民協働

住民のニーズを的確に把握するとともに、事業の早い段階からの情報公開・住民参加を行います。

広域幹線道路ネットワークの将来像

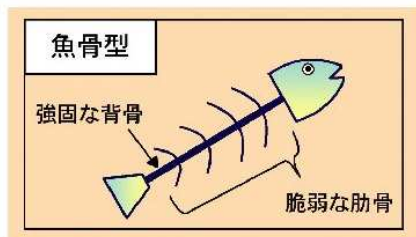
	整備済みの箇所
	概ね5年後まで
	概ね10年後まで
	概ね20年後まで
	概ね20年後事業中の箇所

	事業中
	調査中
	検討区間



※平成16年度予算ベースを想定して目標を立てたものです。
 ※主要幹線道路は、県内の都市や福岡都市圏を結び「県内主要都市間55分圏」を確立する県内道路網の骨格となる幹線道路です。
 ※「国が整備する道路」については、早期完成を国へ要望していくとともに、県も協力して事業促進に努めることとします。

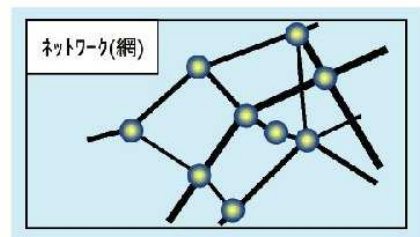
【現状】



貧弱な道路網

ネットワーク化

【将来の姿】



強固なネットワーク

佐賀県 交通政策部 道路課

〒840-8507佐賀市城内1-1-59

TEL 0952-25-7155

e-mail douro@pref.saga.lg.jp

FAX 0952-25-7276

[http:// www.pref.saga.jp](http://www.pref.saga.jp)